2013年

【LEDリニューアル工事マニュアル】

2013年7月17日更新

交換配線工事

電源外付・片側給電

蛍光灯

直管LED

アイリスオーヤマ株式会社
LED事業部

施工上の注意

※施工は必ず「電気工事士の有資格者」が関連法規の規定に従い行うこと。
※施工における責任は作業者によるものとし、弊社には一切帰属しないものとする。

①電源を切る
②蛍光灯用安定器を外す
③専用器具に取り付ける
　既存の照明器具を使用する場合は、器具回路から安定器を外し、決められた配線工事を行う
④施工説明書・取扱説明書をよく読み、施工する
⑤適合電線は、φ1.6単線　φ2.0単線　です
⑥送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する

施工順序

①何箇所かのポイントで床面又は机上等、照度を計測及び記録する

②養生を行う。

③分電盤の位置とLEDに交換する電灯回路を調査
③-1　　図面の有無に関わらず、照明器具以外の負荷は何があるのかを
　　ヒアリング若しくは調査する
③-2　　クランプで工事前の電流値を計測する。
　　（BK・・・　A/WH・・・　　A）
③-3　　停電を行って支障がないかどうかヒアリング若しくは調査する。
④工事着手
④-1　　配線を切断する前に必ず検電器で電圧がかかっていないかチェックする。
④-2　　配線をジョイントする前にソケット部に検電器を差し込み、
　　切断した電線をつまんで導通チェックを行う。
⑤工事完了後に分電盤内のブレーカー（2次側）で絶縁抵抗値のチェックを行う。
⑥点灯して施行後の照度測定を施工前と同じポイントで行う。
⑦点灯して施行後の電流値を測定する。
　　（BK・・・　A/WH・・・　　A）

【施工順序について】

1　何箇所かのポイントで床面又は机上等、照度を計測及び記録する

2　養生を行う。

3　分電盤の位置とLEDに交換する電灯回路を調査

①　図面の有無に関わらず、照明器具以外の負荷は何があるのかを
ヒアリング若しくは調査する

②　クランプで工事前の電流値を計測する。
（BK・・・　A/WH・・・　A）

③　停電を行って支障がないかどうかヒアリング若しくは調査する。

4　工事着手

①　配線を切断する前に必ず検電器で電圧がかかっていないかチェックする。

②　配線をジョイントする前にソケット部に検電器を差し込み、
切断した電線をつまんで導通チェックを行う。

5　工事完了後に分電盤内のブレーカー（2次側）で絶縁抵抗値のチェックを行う。

6　点灯して施行後の照度測定を施工前と同じポイントで行う。

7　点灯して施行後の電流値を測定する。
（BK・・・　A/WH・・・　A）

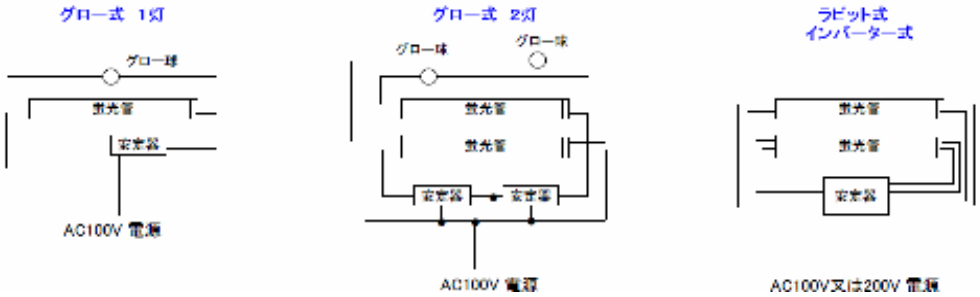
■　電源外付片側給電

●対応機種

[対応ランプ]

ECOHiLUX エコハイルクス　ECOHiLUX HE-L エル high economy high efficiency

●一般蛍光灯器具の器具内配線

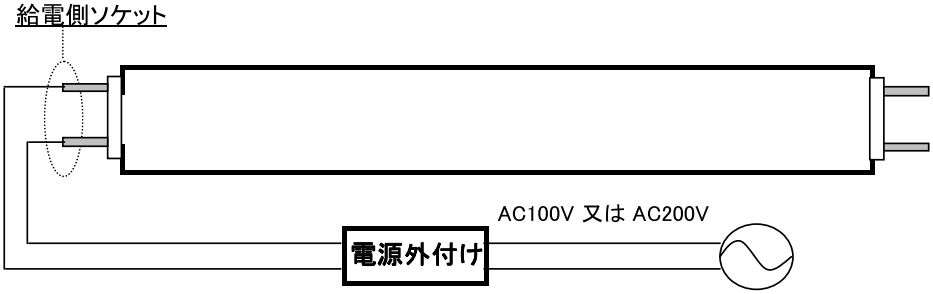


ECOHiLUXの接続図

ECOHiLUX　直管形の接続図

1. ECOHiLUXの基本構成図

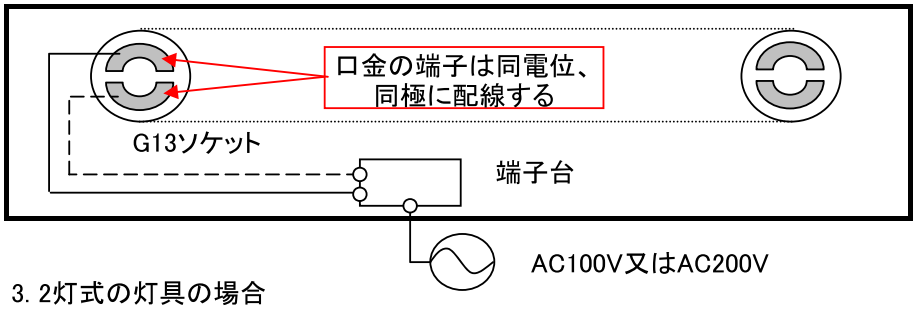
給電側ソケット



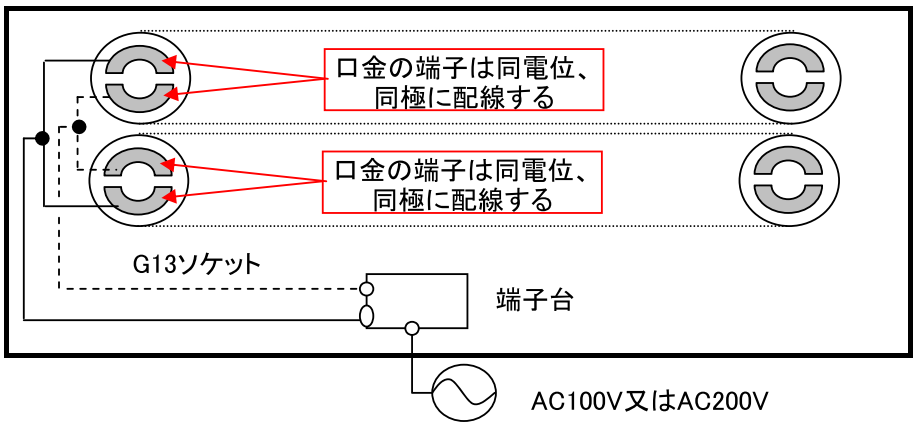
※口金端子のどちらかが内部回路とつながっております(上図参照)。
そのためソケットを同極同電位にする必要があります(下図参照)。

※本、ECOHiLUX蛍光灯形LEDランプの両端にAC100V又はAC200Vの電圧を加えるだけで点灯します。
ECOHiLUX蛍光灯形LEDランプには安定器やインバーターは使用しないで下さい。
故障や異常発熱の原因になる場合がございます。

2.　1灯式の灯具の場合
G13器具の端子は同電位同極に配線する。

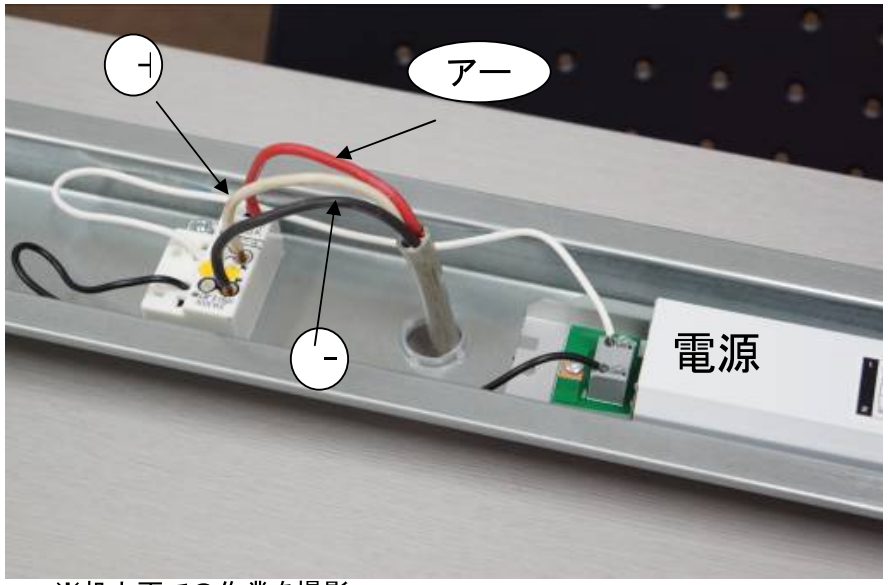


3. 2灯式の灯具の場合
G13器具の端子は同電位同極に配線する。



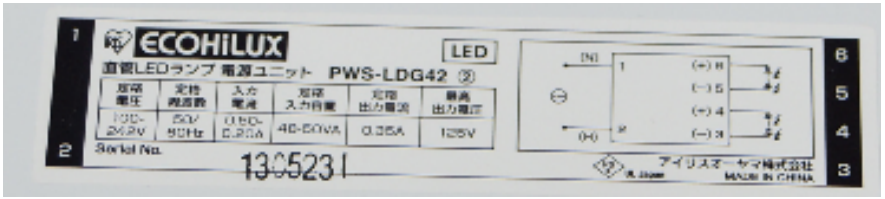
①本体に電源をネジで取り付ける

②本体の電源穴に電源線を通し、接続端子に接続する
電源と接続端子を単線で接続して、第三種接地工事を行う
（既設の接続端子に適合する単線を使用する）

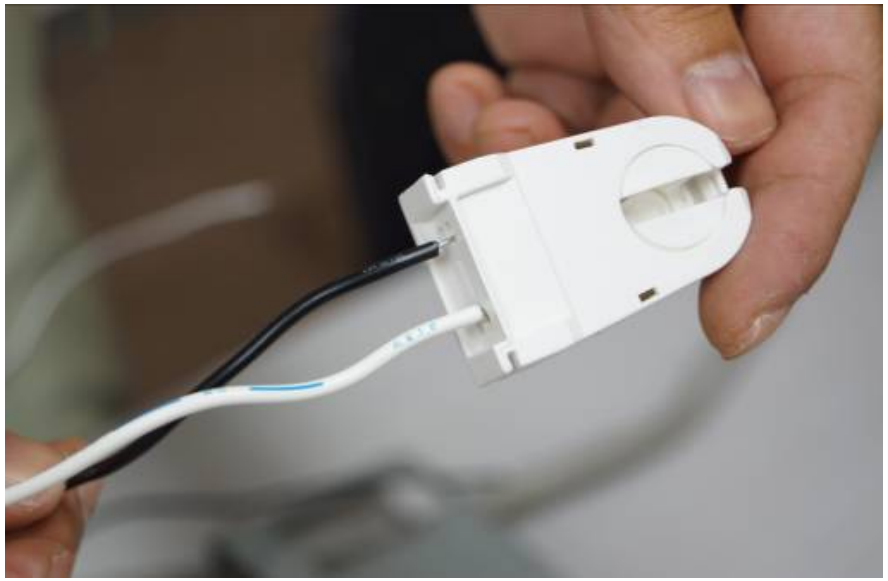


※机上面での作業を撮影

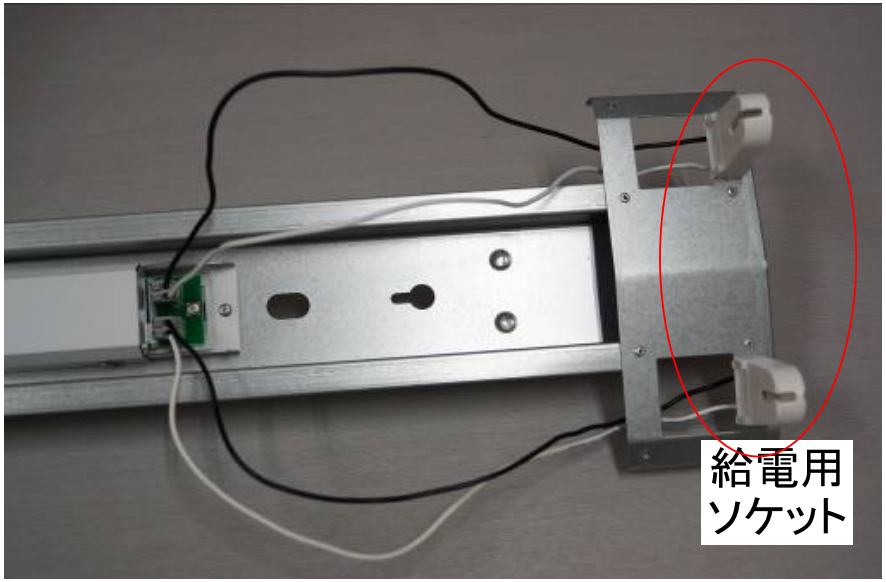
電源に貼ってある配線説明シールに従う



③電源と給電用ソケットを単線で接続する
（既設のソケットに適合する単線を使用する）



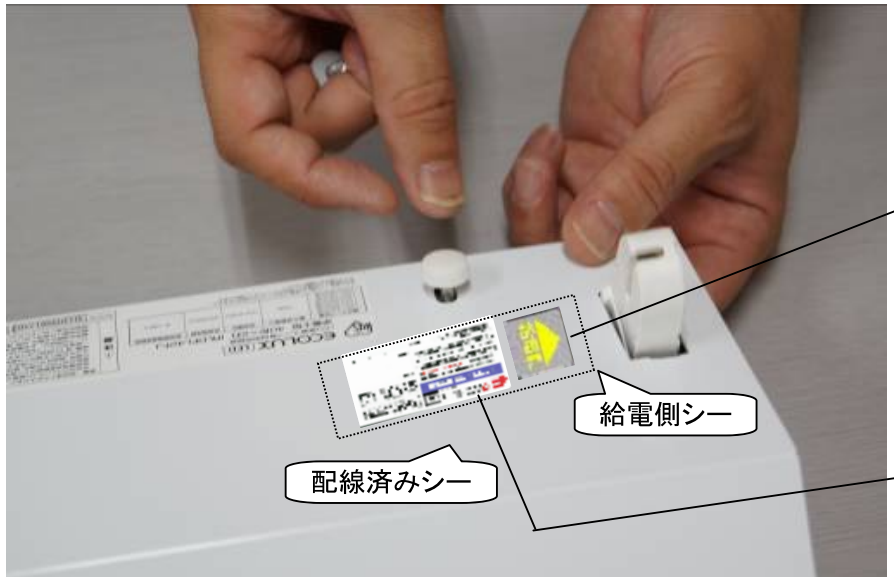
④ソケットを本体に取り付ける



※給電用ソケットの反対側のソケットは単線の接続は行わない

※机上面での作業を撮影

⑤反射板を化粧ねじで取り付ける･ランプを取り付ける



⑥本体に、LEDランプ専用配線済みシールと給電側シールを貼付する

⑦ランプを取り付ける

注意！

給電側口金と印刷されている側を、給電用のソケットに取り付ける

※机上面での作業を撮影